

国立精神・神経医療研究センター病院にて リハビリテーション科を受診された方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院 リハビリテーション科で受診した際の言語聴覚療法中の診療情報の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し言語聴覚療法中の診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の言語聴覚療法中の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。収集したデータは削除いたします。対象者が未成年等の場合には、ご家族等からの申し出も可能です。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2020年4月1日より2028年12月31日までの間に、リハビリテーション科で言語聴覚療法において音声の録音をした方

2. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：音響分析による筋萎縮性側索硬化症の球麻痺の下位分類システムの開発

研究期間：2026年5月31日～2029年3月末日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター病院 原 貴敏

国立精神・神経医療研究センター病院 共同研究者 田村 俊暁

国立精神・神経医療研究センター病院 共同研究者 中山 慧悟

国立精神・神経医療研究センター病院 共同研究者 坂巻 拓実

※なお、外部機関への資料の提供はいたしません。

3. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報：録音音声

(取得方法) 診療の一環で採取

情報等：年齢、性別、診断名、言語聴覚療法の評価のための録音音声

(取得方法) 診療録および言語聴覚療法室内の録音機材から入手

4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究では、筋萎縮性側索硬化症患者に伴う発話の障害のある話者の音響学的特徴によって、球麻痺症状の早期発見と。球麻痺の下位分類を試みます。将来的には、症状の早期発見や経過観察、より適切

な支援方法の検討に役立つことが期待されています。

提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

5. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立精神・神経医療研究センター病院

所属: リハビリテーション部 氏名: 田村 俊暁

電話番号 : 042-346-2190 (代表)

e-mail: Toshiaki-tamura※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)